

桃陵中学校ブロックの小中一貫教育

軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つけたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。(適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。)

義務教育卒業時につけたい力								
自分を大切に思い、他人を思いやる心を身につける。 感受性を豊かにし、様々なものに感動する心を身につける。								
学年または学年区分ごとにめざす姿		自分で考え方行動する子ども 心をこめた挨拶ができる子ども 感動する心を大切にできる子ども		自他に思いやりをもって接することができる子ども 自己・友だち・家族・自然など、大切なものを大切だと感じができる子ども 公正・公平な考え方を大切にする子ども		正しい言葉づかいをすることにより、他者への思いやりの心をもった生徒。 共に生きる社会のめざす生徒。		規範意識の内面化と共に、感謝の気持ちを表現できる生徒。 支え・励まし・高め合う生徒の育成
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 ＜伏見南浜小学校の取組＞	命かがやく南浜 校区・京都の産業	平和学習 登校時のあいさつ	・学級活動に「コミュニケーションの取り方」を考える時間を設置。	・生徒会活動の中に、規範意識を考える取り組みを組み込む。	・修学旅行を通しての集団の絆づくりと、自然や平和への感謝の気持ちの育成			
校区探検	登校時のあいさつ	ありがとうスピーチ	・人権学習と絡めて「他者を理解する」ための学級活動	・学校行事（文化祭・体育祭）の主体的な活動	・生徒会行事、学校行事での協働活動			
登校時のあいさつ	いいとこみつけ	いいとこみつけ						
いいとこみつけ	河川レンジャー	ありがとうの花をさかせよう						
保幼小交流	エコライフチャレンジ	演劇鑑賞教室						
演劇鑑賞	演劇鑑賞	音楽鑑賞教室						

義務教育卒業時につけたい力								
たくましく生きるための健康と安全を身につける。								
基本的な生活習慣を身につける								
自分を知り、心身ともによりよい自分をつくる								
学年または学年区分ごとにめざす姿	からだを清潔に保つ大切さを知り、衛生的な生活をおくる週間を身につける。	健康な生活を送るための生活習慣を身につける。命のつながりを知り、自分を大切にする。	生命の尊さや命の連續性を理解し、自他の命を尊重した行動ができるようになる。病原体や薬物・アルコールなどの害を知り、自分の健康を守る行動がとれる力を身につける。	自らの健康状態や体力について考え、健康について考え行動し、体力の向上をめざす生徒	食事・運動・休養・睡眠の調和のとれた生活習慣を身に付けようとする生徒	将来にわたってたくましく生きるために、健康や安全を考え、行動する力を耳に付けた生徒		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 ＜伏見南浜小学校の取組＞	避難訓練 生活見直し週間 給食室からこんにちは ランチハウス給食 保健だより 保健室指導 保健体育学習 自転車教室	避難訓練 生活見直し週間 給食室からこんにちは ランチハウス給食 保健だより 保健室指導 保健体育学習 薬物乱用防止教室 非行防止教室	避難訓練 生活見直し週間 給食室からこんにちは ランチハウス給食 保健だより 保健室指導 保健体育学習 薬物乱用防止教室 非行防止教室	健康観察 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯〇の取組み	健康観察 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯〇の取組み 食育指導	健康観察 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯〇の取組み キャリア教育	避難訓練 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯〇の取組み	
<中学校ブロックとしての取組>								
<ul style="list-style-type: none"> ・食事、運動、休養、睡眠の大切さを、9年間を通して共通して指導を行う。 ・養護教諭が適宜連絡を取り、情報交換を行うことで、児童生徒の健康状態の把握、さらには心身の状況の把握を行う。 ・地域の交通安全推進委員会、少年補導員会などと連携し、安全指導や心の健康について指導を行う。 ・う歯〇の取組みを小中連携で行う。 ・体力診断テスト、スポーツテストの共有化し、体力の増強などについて連携する。 								

学びの約束・ルール

項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方 聞き方 読み方	全員に聞こえる大きさの声で話す。 話している人の方に体を向けてきく。 はっきりと読む。	場所や場面に合わせた声の大きさで話す。 自分の考えと比べながら聞く。 言葉のまとまりを意識して読む。	自分の話したい意図が伝わるよう話す。 相手の考えの中心をつかめるよう聞く。 声の大きさやリズムを工夫して読む。	自分の話したい意図が伝わるよう話す。 相手の発言に注意して聞いたり、自分の考えをまとめたり、自分の考えをまとめて話す。	話題や方向性を的確にとらえ、相手の発言に注意して聞いたり、自分の考えをまとめたり、自分の考えを広げる。	相手の立場や考え方を尊重し、目的に沿って話し合いや、互いの発言を検討して自分の考えを広げる。	話し合いが効果的に展開するよう進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。		
ノートづくり	マス目からはみ出さないように丁寧に正しい字で書く。	読みやすさを意識して、マス目や行の空け方を工夫して書く。 大事なところを囲んだり、色をつけたりする。	学習した内容が分かりやすいようにノートのまとめ方を工夫する。 課題、考え、分かったこと、違う意見などを色分けをしたり、項目を分けたりして分かりやすくまとめる。	授業の内容や理解したことまとめのノートづくり	学びを楽しむためのノート学びの足跡を残すノートづくり	思考力・表現力を伸ばすためのノート	思考力・表現力を伸ばすためのノート	自分の考えを友だちの考えと比較できるノートづくり	
適切なあいさつ・言葉づかい	大きな声であいさつをする。 正しいあいさつや返事の仕方を知る。		相手や場面に合わせて適切な言葉づかいをする。 相手意識をもってあいさつをする。	気持の良いあいさつ、その場にふさわしい適切な言葉づかいをする。 ・授業中はすべて教職員も生徒も男女とも「〇〇さん」と呼ぶ。そのことで授業規律が高まり、また相手を思いやる心を育てる。 ・地域の方への話し方、年長者に対する話し方を身に付ける。 ・上級生、下級生の間の過度な挨拶の自粛。					

家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- ・学校運営協議会への互いの参加により、保護者、地域の方と共に両校校長が学校の現象の共通理解を行う。
- ・地域行事の担当校を決め、役割を分担するとともに、児童生徒の参加については協力・連携を行う。
- ・地域生徒指導連絡協議会等での両校PTAの繋がりや地域行事での両校PTAの協力を、学校経営に生かす。
- ・学校だより、ホームページの充実、地域だよりなどの発行により、地域の方の学校理解を進める。
- ・地域団体の学校行事への協力や、「総合的な学習の時間」への支援等、地域の人材を活用した学習を進める。
- ・幼稚園、小学校、中学校の3校園合同「地域学校運営協議会」での情報交換、意見交換を行い学校経営に生かす。